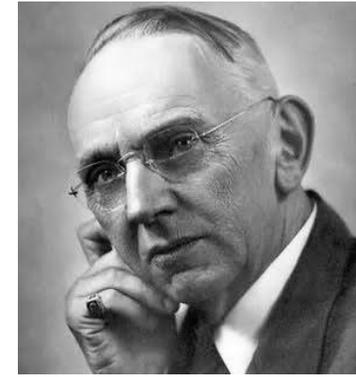


# ケイシー流オイルマッサージに使うオイル



基本のマッサージオイル（2つ）

- ・ピーナッツオイル
- ・オリーブオイル

どちらもエクストラバージン(一番搾り)&コールドプレス(低温圧搾)&オーガニック(有機)を選ぶ。

⇒熱による変性がない。高品位。食べるのと同じ、口に入れられるもの。

★植物（種子、果実）のエネルギー・構造を壊さない。自然そのままの状態に近い。

使い方

- ・ピーナッツオイル単体を使う
- ・ブレンドしたオイルを使う



ピーナッツオイル：オリーブオイル = 1：1 に、少量のラノリンを加える

既製品なら「大地と光のマッサージオイル」（テンプレートビューティフルの商品）

★ピーナッツアレルギーがないことを確認する



# マッサージにオイルを使う理由、目的



1. 何もつけないマッサージ（ドライマッサージ）よりも、  
オイルを皮膚から浸透させたほうが、体内の老廃物がより排泄されやすくなる。
  - ・ 細胞の老廃物は水に溶ける水溶性、油に溶ける脂溶性と2つのタイプがあるが、その大半は脂溶性である。  
老廃物は体脂肪に溜まりやすく、これはオイルでなければ除去しにくい。（オイルクレンジング）
  - ・ オイルを経皮吸収させて、体内の脂肪層に溜まった重金属や脂溶性の老廃物を溶かしながら、  
静脈系やリンパ系を通して循環に乗せて、体外へと排出させる。
2. 栄養としてのオイルの成分やエネルギーを、経口摂取のように「消化と吸収」のプロセスを経ずに、  
ダイレクトに身体に取り込むことができる。（不飽和脂肪酸：細胞膜の原料、ビタミンE）  
  
**★ 植物**(オリーブ、ピーナッツetc.)の微細なエネルギー・生命力・癒しの波動を  
オイルを通して身体が受け取る ⇒ オイルマッサージは**波動・エネルギー療法**
3. **★ 「脊柱の歪みを整え、中枢神経と自律神経の協調をはかる」**（エドガー・ケイシー）

# ケイシー流！ オイルのはたらきと使い分け



ケイシーリーディングより

- ・ **ピーナツオイル** → **筋骨格系**（筋肉や関節など） **関節の痛み**
- ・ **オリーブオイル** → **皮膚粘膜系**（肌や唇など）
- ・ ひまし油                      免疫系    ※ひまし油はマッサージにはあまり適さない  
癒しの波動を届ける ← 熱（赤外線）とともに浸透させる
- ・ ココアバター                乳幼児、高齢者

[ブレンドのバリエーション]

**ローズウォーター【美肌】、穀物アルコール【爽快感、解熱】** ※いいちこ

**テレピン油【ひどい腰痛、関節炎】、ウィッチヘーゼル、サッサfras油**

その他**精油**（**パインニードル【関節痛】、ラベンダー【精神安定】、ユーカリ【呼吸器系】**）

[オリーブオイルを加熱して溶かしこむ]

**天然樟脳**        : 細胞が自ら元の状態に戻る → 古傷(手術痕)、関節の変形(外反母趾、円背、側弯)

**ミルラ(没薬)** : 脳卒中後遺症、片麻痺

# オイルマッサージがすすめられた疾患



**筋骨格系の歪み** ⇒ 歪みによる反射で**内臓の働き**が低下 ⇒ **排泄不良・同化不良**  
にともなう症状・疾患

**関節炎**→ピーナッツオイルを患部にたっぷり擦り込む。一部位に5～10分。

**自律神経のトラブル** ※中枢神経と交感神経とのバランスをとる

**リウマチ**→エプソムソルト(硫酸マグネシウム)浴のあと患部にやる。脊柱にも。

**てんかん**→オステオパシーと合わせる。

※てんかんの原因：背骨のずれ、乳び管の癒着、カルマ・憑依霊

乳び管：小腸の中の絨毛の中に毛細血管に囲まれて存在するリンパ管

**統合失調症**→ウェットセル（金や銀の波動を電気にのせて送る）のあと、  
脊柱のC3、T9、L4、仙骨、尾骨を念入りにオイルマッサージする。

※統合失調症の原因：出産時の背骨のずれ、憑依霊

**認知症**→オイルマッサージで背骨の歪みを整えたらインピーダンス装置

その他、**内分泌系の異常からくる疾患**（神経－内分泌）

→20分くらい入浴して身体をほぐし温め、毛穴を開かせてからオイルマッサージする。

# 神経の解剖

## 中枢神経

- ・「脳」
- ・「脊髄」★脳につながる

## 末梢神経（脳神経、脊髄神経）

- ・「体性感覚神経」

「運動神経(筋肉を動かす)」と、「感覚神経(感覚を伝える)」

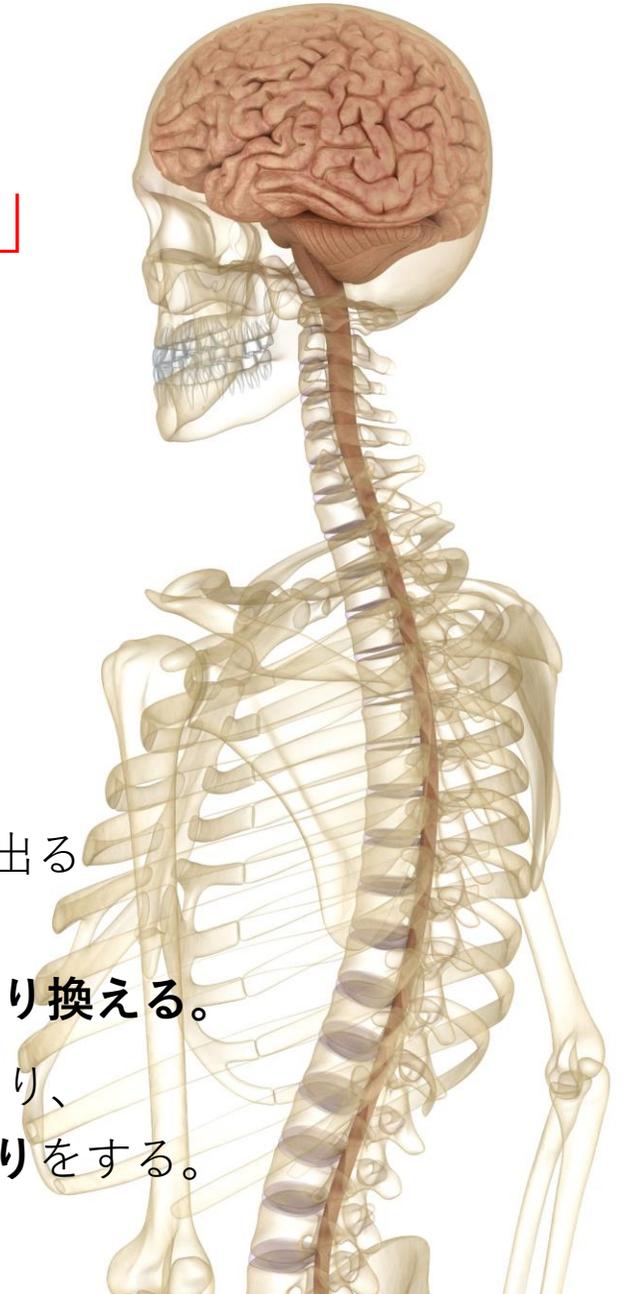
- ・「自律神経」★内臓を動かす

- ・「交感神経」⇒胸髄と、腰髄から出る
- ・「副交感神経」⇒中脳・橋・延髄(→「迷走神経」)と、仙髄から出る

※交感神経→「交感神経幹」上の「交感神経節」でニューロンを乗り換える。

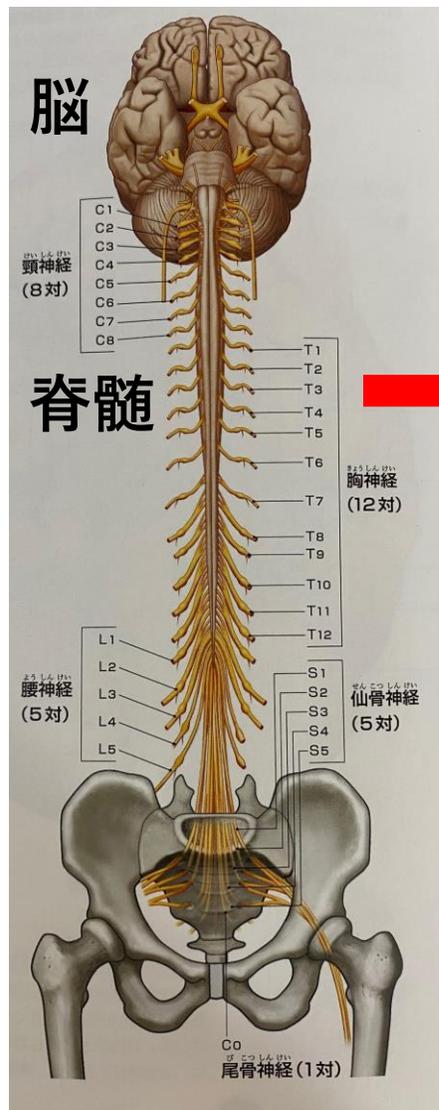
とっても大事な場所!! ⇒ つまり、「交感神経節」に神経細胞体があり、  
神経伝達物質(ノルアドレナリン)のやりとりをする。

「**脊柱の歪みを整え、  
中枢神経と自律神経の協調をはかる**」



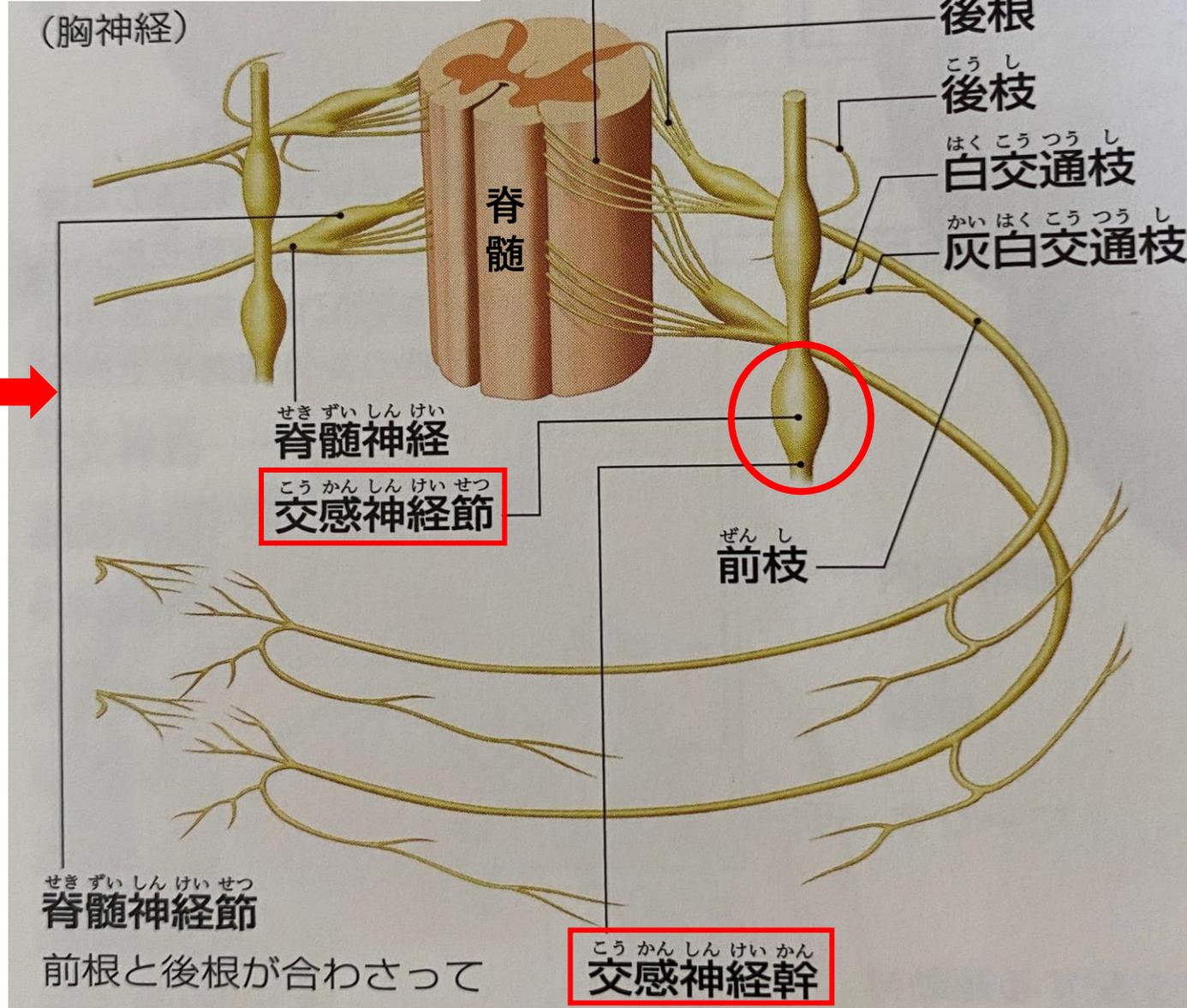
# 神経の解剖

## < 中枢神経 >



## < 末梢神経 >

(胸神経)

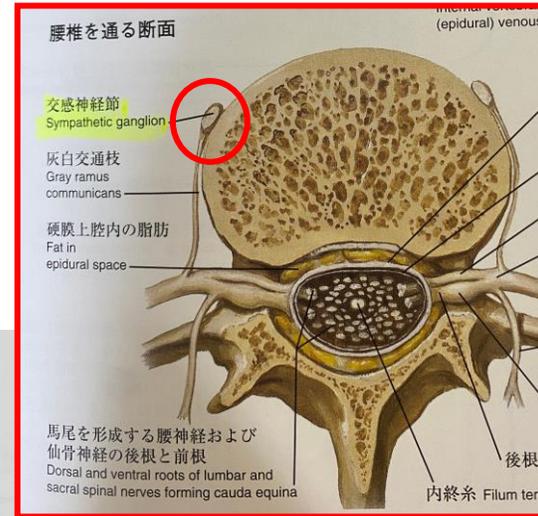
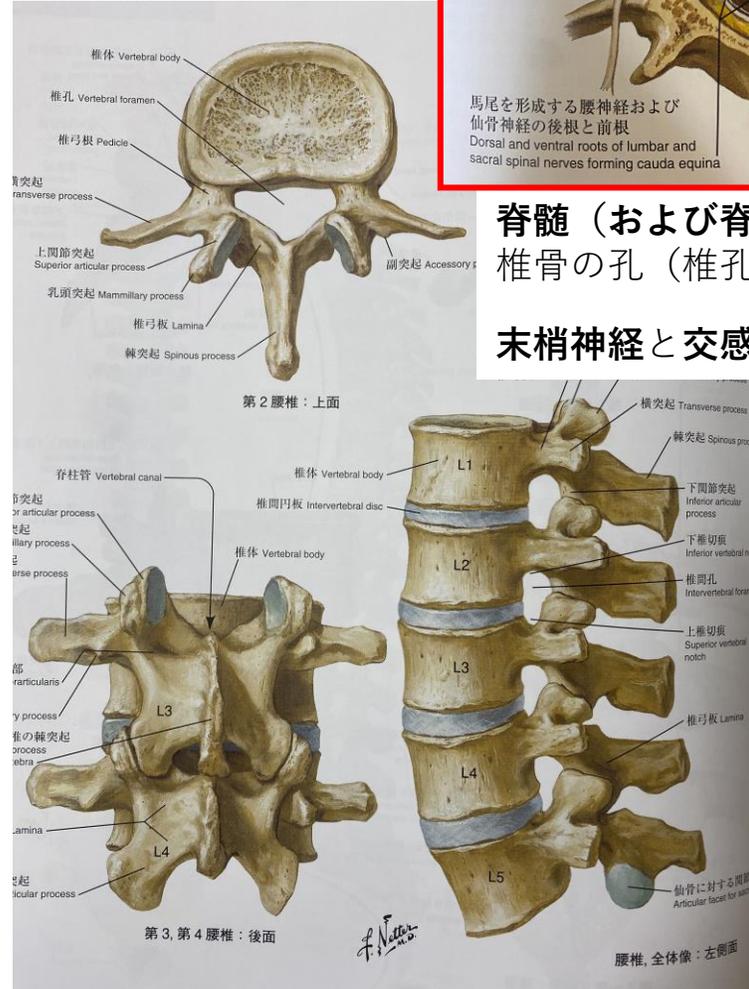
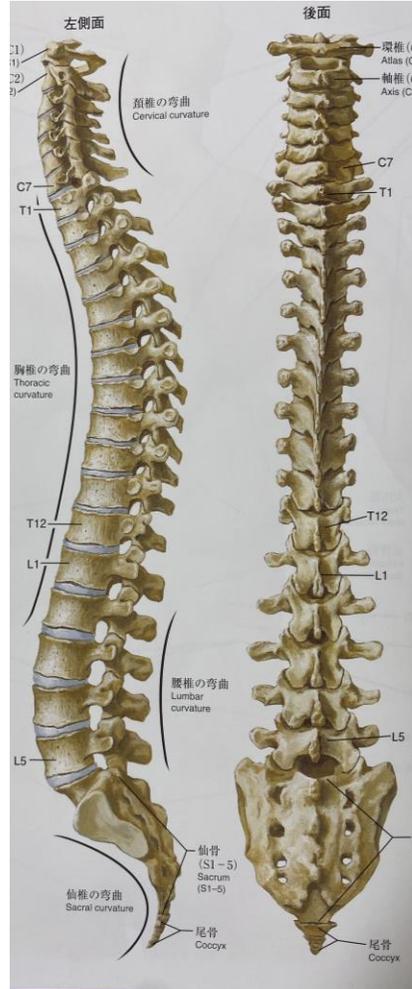
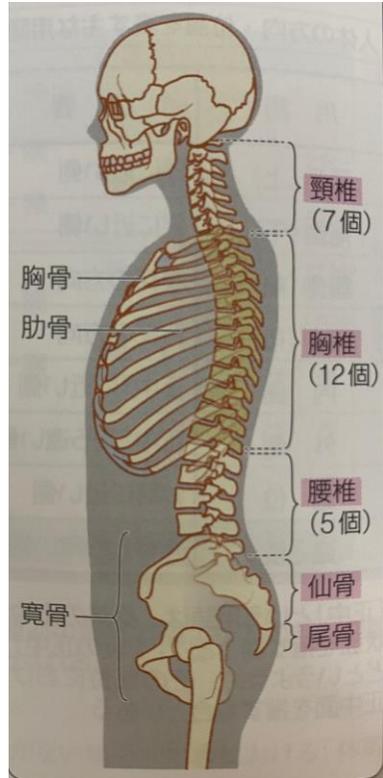


# 脊柱の解剖

- 頸椎 C 7個
- 胸椎 T 12個
- 腰椎 L 5個
- 仙骨 S (穴4対)
- 尾骨 Co

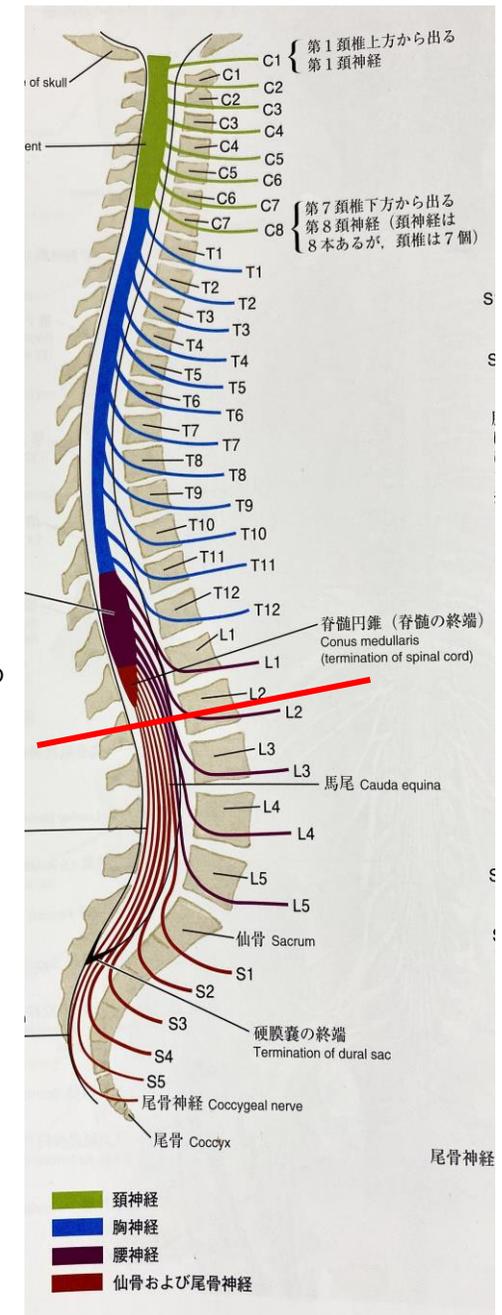
## < 脊椎 >

## < 椎骨 >



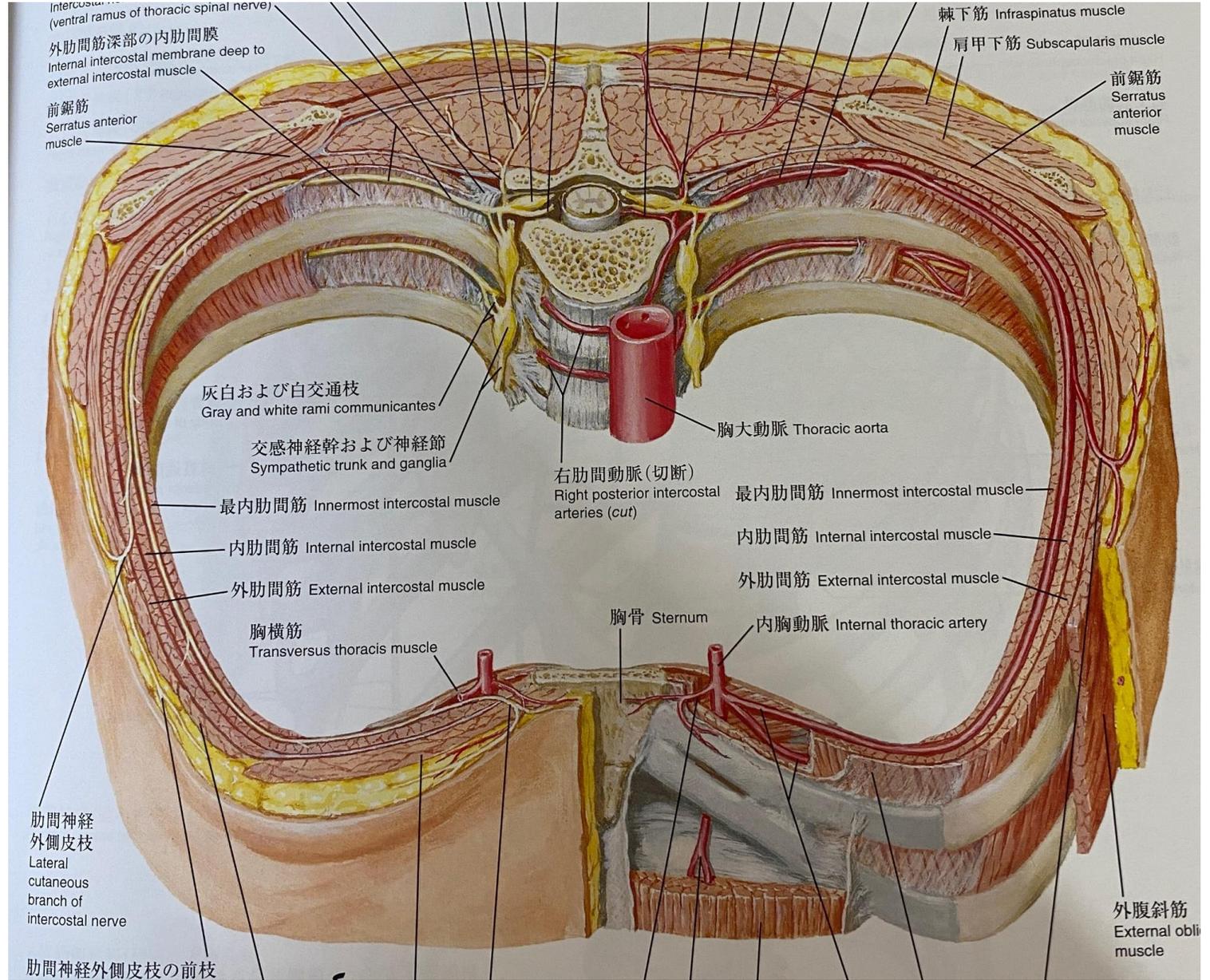
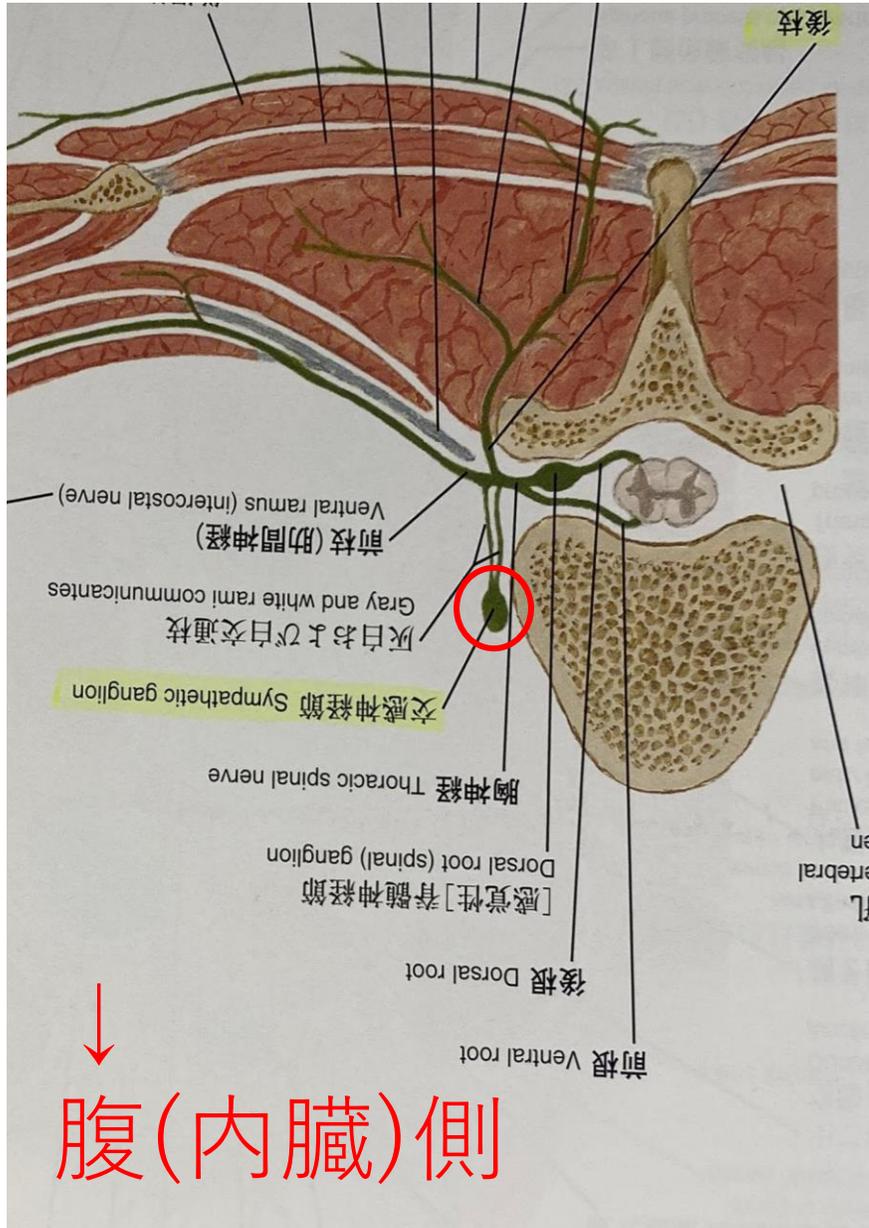
脊髄（および脊髄神経）が椎骨の孔（椎孔）を通る断面図

末梢神経と交感神経節が左右に出る



- 頸神経
- 胸神経
- 腰神経
- 仙骨および尾骨神経

# 脊柱と交感神経節の位置



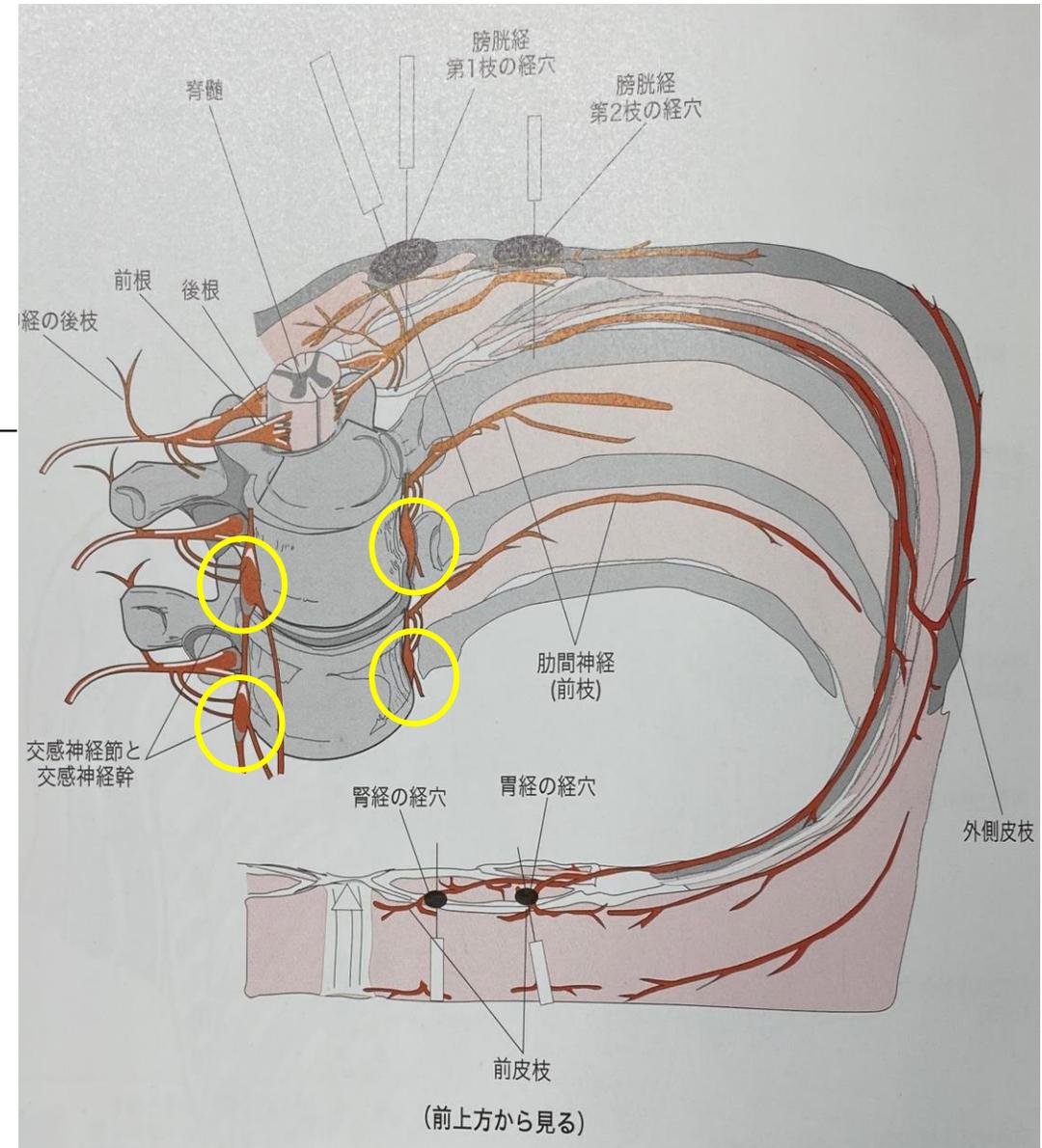
# 脊柱オイルマッサージの実際

★ケイシー流「脊柱のオイルマッサージ」の説明では、  
「**交感神経節**」を囲うように**椎骨一つ一つに対し**  
**脊柱の中心（棘突起）の際から左右に直径約3cmの円を描く**  
と言うが、、、

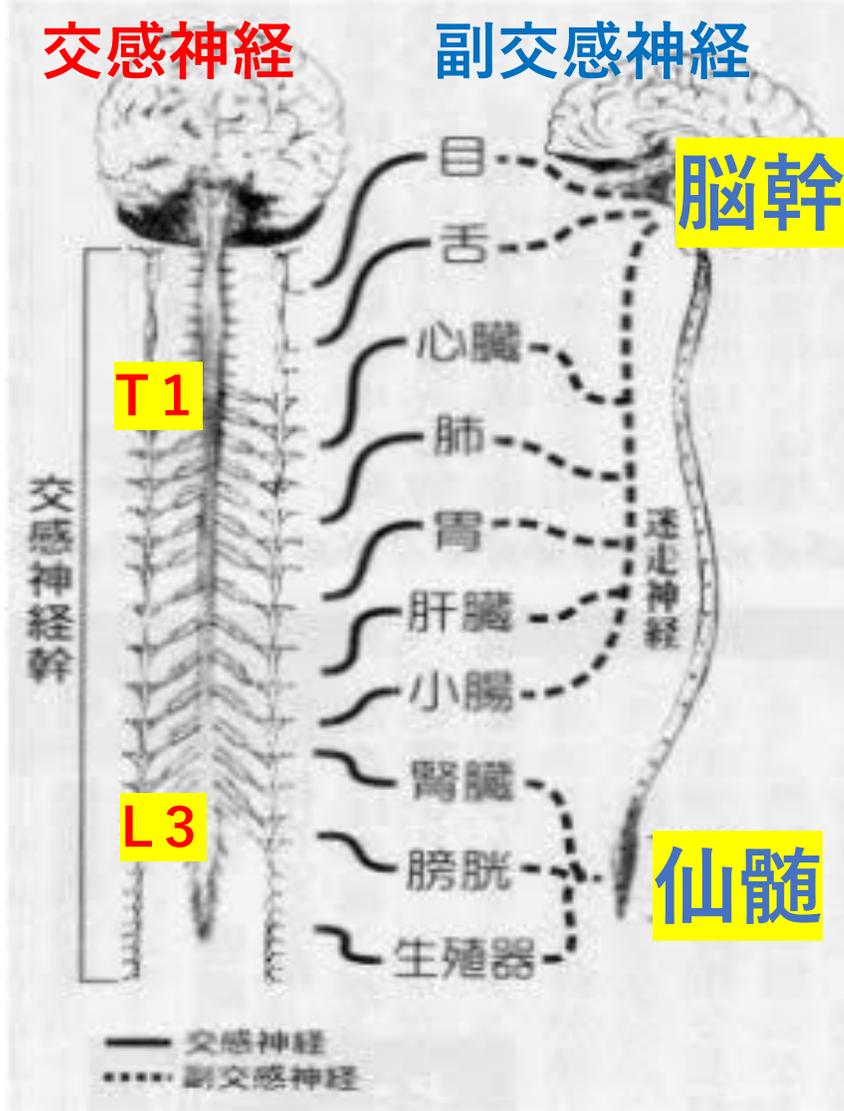
実際**背中側**のそこには「**交感神経節**」は解剖学的には存在しない。

「**交感神経節**」は椎骨の**腹側（肋骨の内側）**にはりついているから。

- 「**感覚神経(求心性)**」が**交感神経節**で「**交感神経**」と交通。  
背中からの皮膚感覚がその高さの**交感神経**に影響。
- 各臓器に対応した膀胱経の「**経穴**」がある。  
氣、電氣的エネルギーの経路、ポイント)
- 「**交感神経節**」に対して行っていると**イメージ**する。  
※福田高規先生の手の動き
- マッサージによって**ファシア、筋、骨**に物理的に運動が伝わり  
**椎骨と椎骨の間の関節、椎骨と肋骨の間の関節**から  
**オイル（のエネルギー・波動）が浸透**していく。

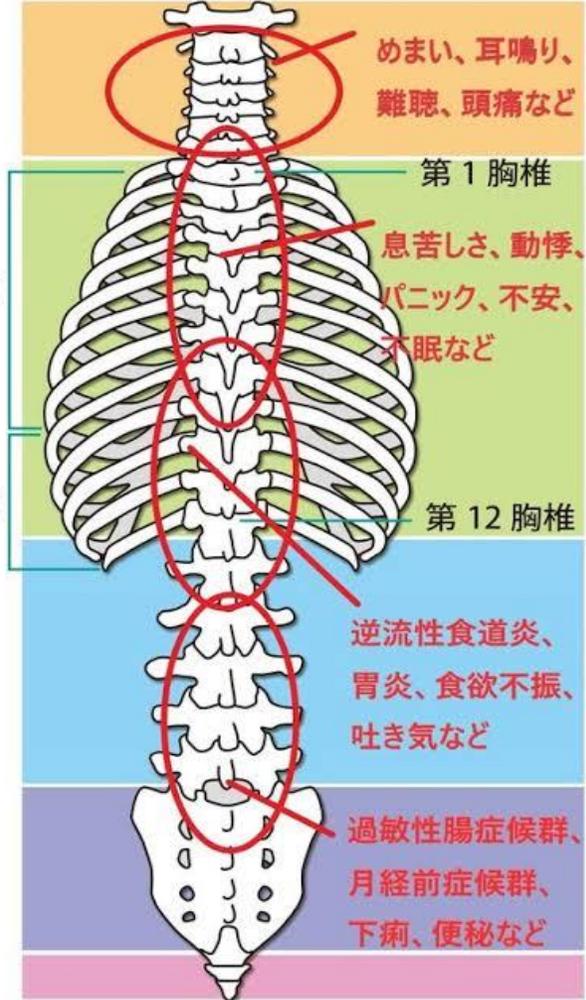
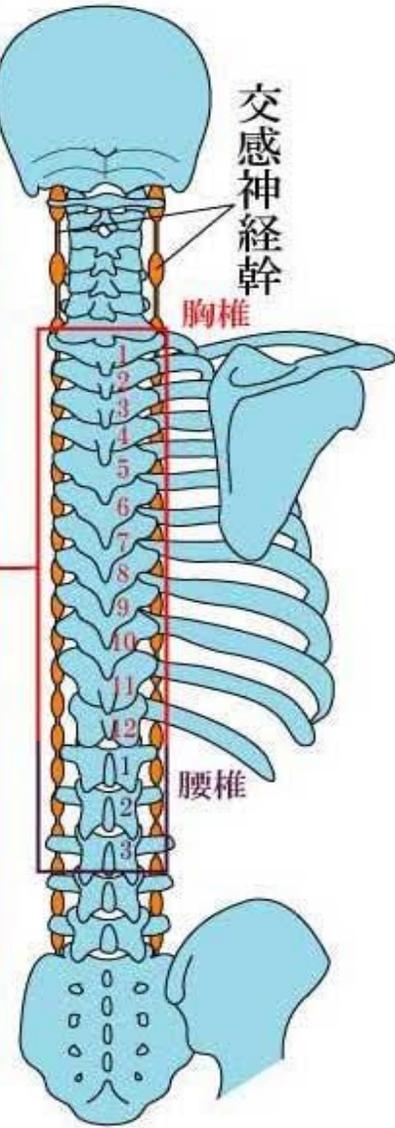


# 自律神経の臓器支配

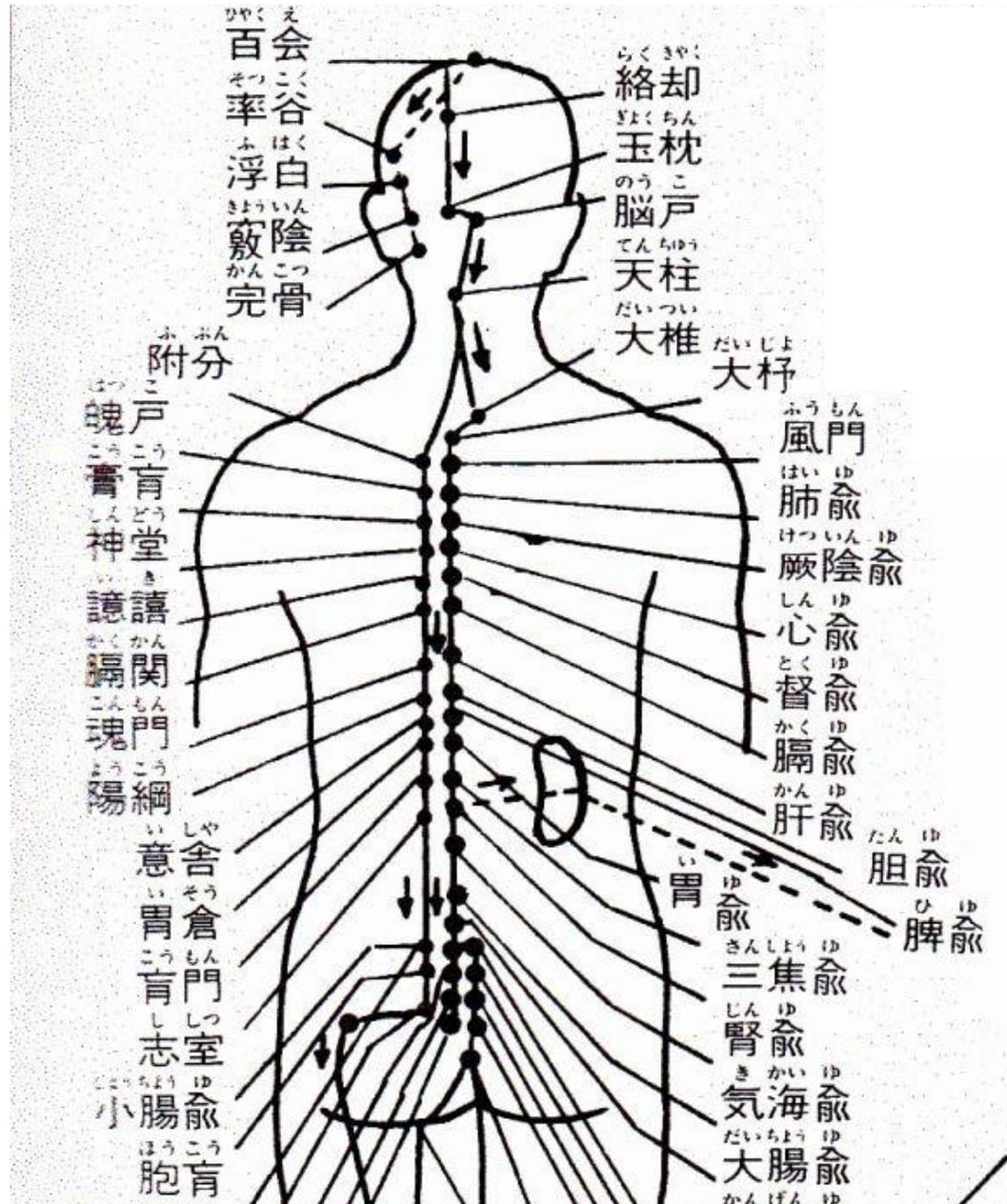


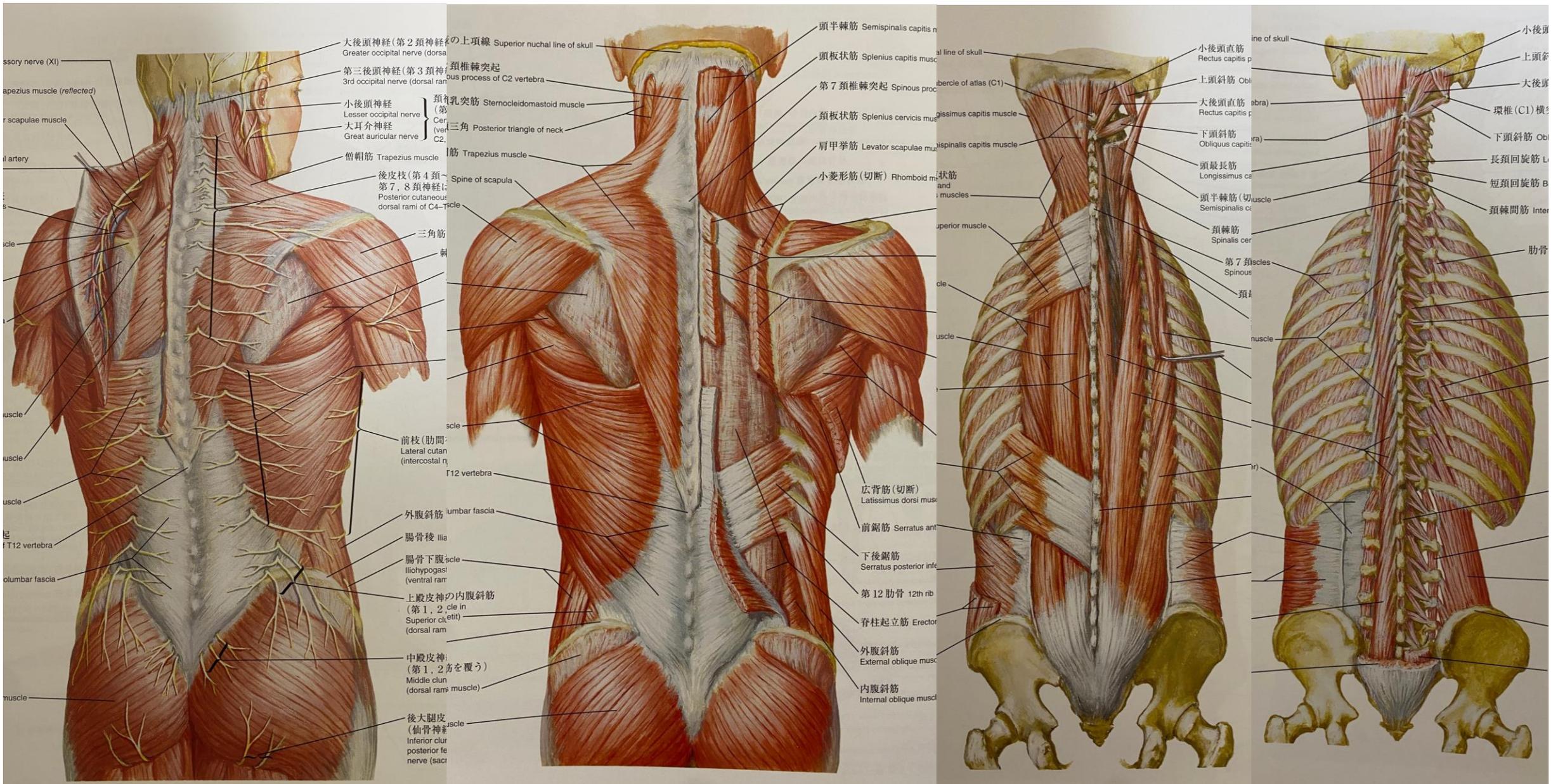
## 交感神経系(胸腰系)

<b>頭部</b>	眼の調節 (瞳孔・水晶体) 涙腺と唾液腺 頭部の血管 胸椎1～3番(4番)
<b>上肢</b>	上肢の血管・汗腺・立毛筋 胸椎2～7番(主に2・3番)
<b>胸腔</b>	心臓・気管支 肺 胸椎1～4番(5番) 胸椎2～5番
<b>腹腔・骨盤腔</b>	胃・膵臓・脾臓 肝臓・胆のう 小腸 副腎 腎臓 大腸(上行・横行結腸) 膀胱・生殖器 胸椎6～10番 胸椎7～9番 胸椎9～10番 胸椎8番～腰椎1番 胸椎10番～腰椎1番 胸椎11番～腰椎1番 胸椎11番～腰椎2番
<b>下肢</b>	下肢の血管・汗腺・立毛筋 胸椎10番～腰椎2番(3番)



# 経絡と経穴（氣の通り道）、督脈 膀胱経





# エネルギーの経路としての脊柱

ケイシーリーディングで重要な高さは

**C1、C3**

C7～T2

※腕神経叢(C5～T1)

⇒ 解剖学的

L2やL4

**T9**(太陽神経叢、みぞおちの第3チャクラの裏側)

…外のエネルギーと繋がる

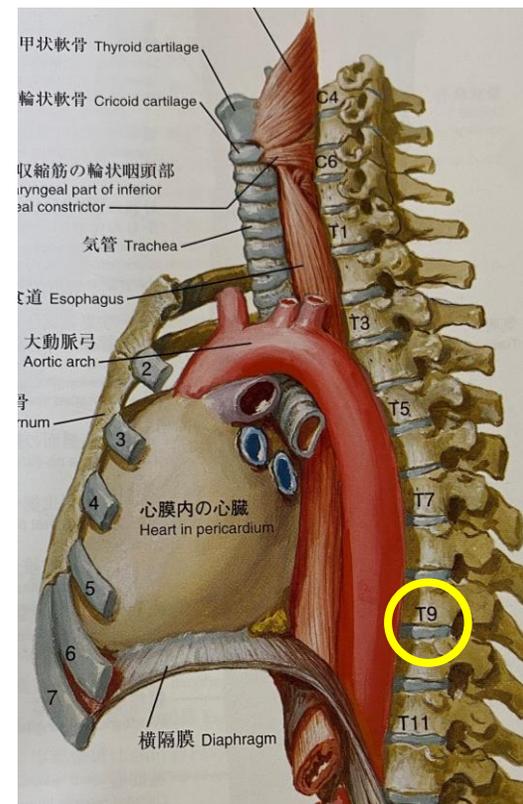
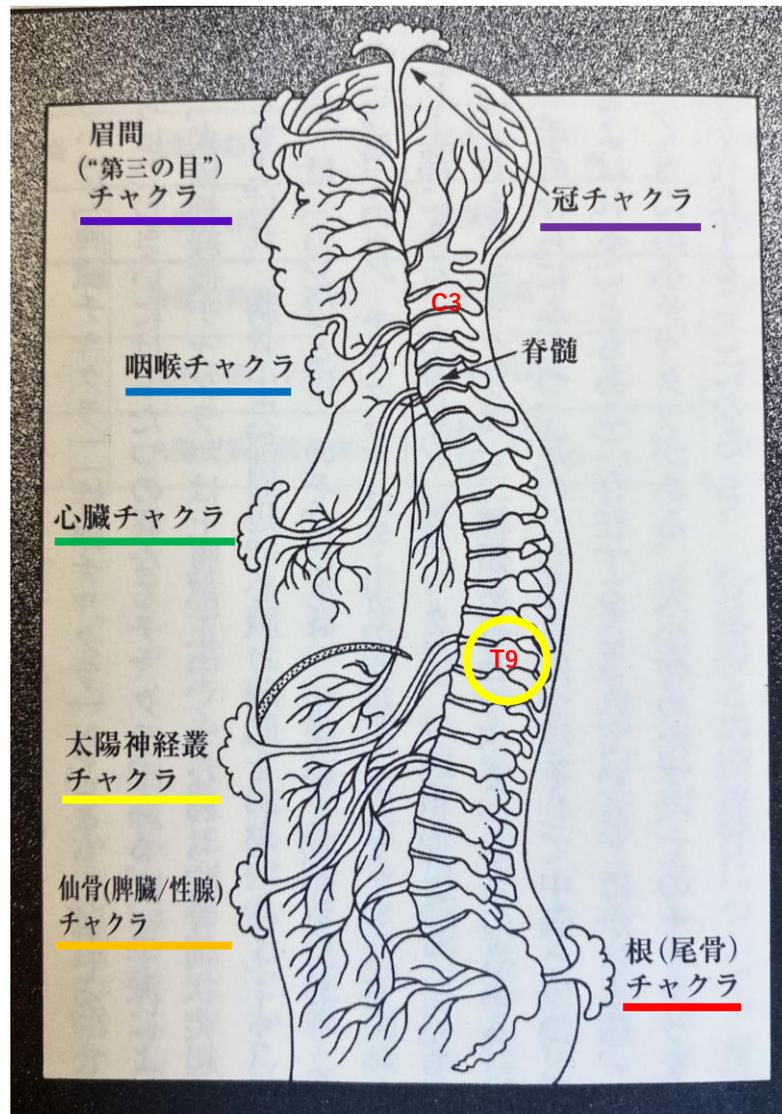
ex, 憑依霊が出入りする場所

脊柱は霊的な経路、**瞑想**でエネルギーを通すライン

7つのチャクラが位置する

各チャクラは**それぞれ内分泌器官と対応**、

**内分泌器官と神経とは密接に繋がる**



# エドガー・ケイシーの祈りと瞑想



7: 脳下垂体

6: 松果体

5: 甲状腺 (のど)

4: 胸腺 (心臓・ハート)

3: 太陽神経叢 (副腎)

2: ライデン (ライディック) 腺 (へその下あたり)

1: 性腺 (根元)

## 主の祈り

- 天にまします我らの父よ  
願わくば
- み名の崇(あが)められんことを。  
み国の来たらんことを。
- み心の天に行われるごとく、地にもなさせたまえ
- 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
- 我らに負債 (おいめ)ある者を、我らが救したるごとく  
我らの負債 (おいめ)をも救したまえ
- 我らを試みにあわせず、● 悪より救いだしたまえ
- み国とみ力と栄光は  
永久(とこしえ)に汝のものなればなり  
アーメン (マタイ6.9~13)

天、栄光：脳下垂体

み名、み力：松果体  
み心、み国：甲状腺

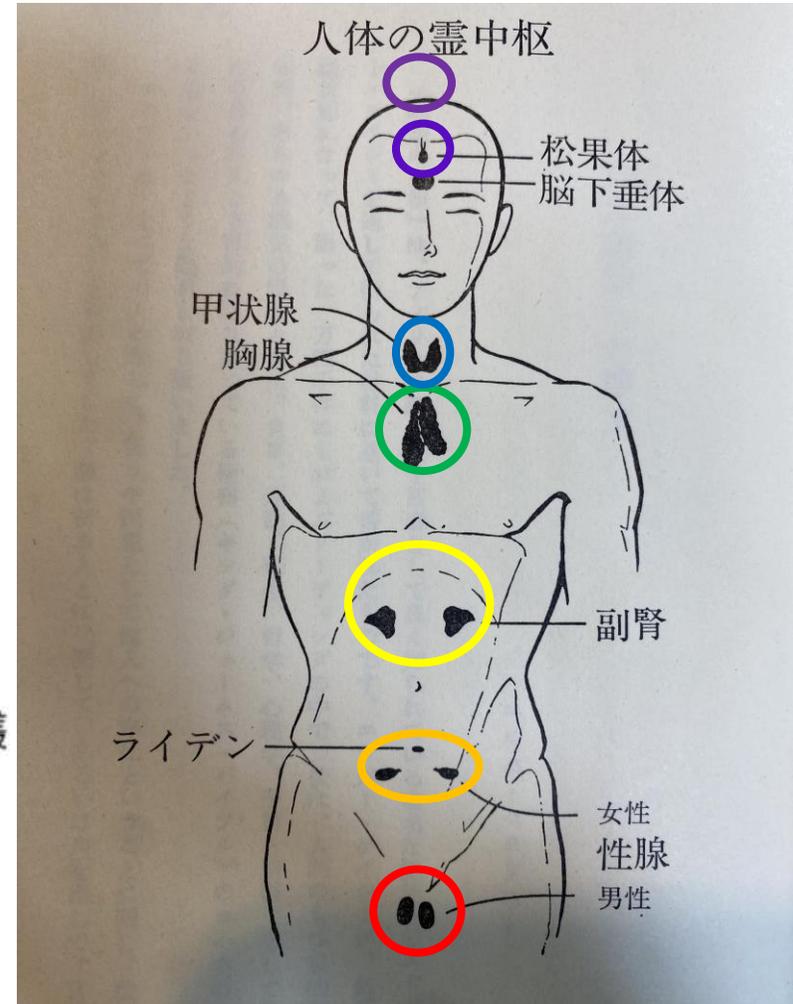
糧：性腺

負債 (おいめ)：太陽神経叢

試み：ライデン腺 (ライディック腺)

悪：胸腺

## 内分泌器官



# 参考：エドガー・ケイシーがすすめる食事の摂り方（食事療法）

- ・ 豚肉を避ける 豚肉 × 牛△ 羊(ラム)・鶏○ 魚◎
- ・ 揚げ物を避ける
- ・ 新鮮な野菜を豊富に（昼：地上の生野菜、夜：地下の温野菜）
- ・ 皮膚疾患にはナス科の野菜とコショウを避ける

ナス科：ナス、トマト、ジャガイモ、ピーマン、パプリカ、唐辛子

- ・ 野菜を食べるときはゼラチンと一緒に（ビタミンの吸収が7倍に）
- ・ よい水をたくさん飲む 1日1.5~2ℓ（体重×30）
- ・ 精白した米、パンを避ける
- ・ かんきつ系の果物を豊富に
- ・ 砂糖の多い菓子類を食べない
- ・ 怒っている時、悲しんでいる時には食べない

レタス  
クレソン  
セロリ  
ニンジン

新鮮な葉物野菜  
太陽・大地⇒植物  
生命エネルギー  
波動

バランス  
組み合わせ  
食べ合わせ  
順序

体内毒素の元となる未消化物をつくらない食べ方 → 血液浄化

アルカリ性食品80%  
野菜・果物

酸性食品20%  
肉・揚げ物・白砂糖

まぜるな危険×：炭水化物+かんきつ系 酸性になる

あまりよくない：炭水化物+肉や魚 消化しにくい

食べる順：果物→野菜→タンパク質（肉や魚）→炭水化物（米・パン）

身体の90%以上は水でできている。  
皮膚の下の世界をイメージしよう。



『人の生きた筋膜の構造』（医道の日本社）  
内視鏡検査を通して示される細胞外マトリックスと細胞

この美しい世界が、私たちの  
皮膚の下には広がっています。  
ここにオイルマッサージをします。

大野光世 個人LINE



ひかりの治療院 公式LINE



大野光世 Facebook



# ＋マッサージオイルについてのリーディング



「その他の療法としてマッサージを励行する。  
オリーブオイルとピーナツオイルの混合オイルを使うが、もしラノリンがない場合に、  
この組み合わせのマッサージオイルが皮膚に強い刺激を与えるようなら、ピーナツオイルだけにする。  
しかし時々はこちらの混合オイルを使うこと」 (2514-15)

「毎週ピーナツオイルによるマッサージを受けるものは、決して関節炎を恐れることはない」 (1158-30)

「精製されていないピーナツオイルは、その成分の中に皮膚や血液に作用するものがあることで体液の循環をよくするように作用し、  
体表を構成している力にも作用する。この力は皮膚・筋肉・神経・腱をしなやかにする」 (2968-1)

「週1回、ピーナツオイルで身体をこすれば、リウマチや、肝臓や腎臓の活動がにぶることで他の病気を併発することもなくなる」  
(1206-3)

「ピーナツオイルを使いなさい。そうすれば、まもなく肌の状態が見違えるように変わるであろう」 (1770-7)

「潤いの少ない肌には週に1～2回、ピーナツオイルのお風呂に入るがごとく、オイルマッサージをすることを勧める。  
少量のオイルで全身をマッサージするのだ」 (2582-1)

「少なくとも週に1回、身体によい全身運動をし、入浴をしたあとに純粋なピーナツオイルで背中、顔、身体、足を  
マッサージすること。そうすると美しさに磨きがかかるであろう。」 (1206-3)

「ピーナツオイルで普通にマッサージすることをもっとも推奨する。ほんの少量を取り、朝晩、顔、首、肩をマッサージしなさい。  
手や腕も同様に」 (2535-1)